

2学期をふりかえる ～2学期終業式 学校長の話～

始業式では、2学期にはたくさんの行事があるので、充実した2学期にしていきたいと思いますという話をしました。今日で2学期が終わります。2学期をふりかえることで、西高での学校生活をとおして自分自身のがんばりを確認し、高校生としての成長を実感してほしいと思います。

(12月22日(金) 2学期終業式 学校長の話から抜粋)

2学期もいよいよ今日で終わりです。2学期にはたくさんの学校行事がありました。

9月には、3年生の就職試験が始まりました。それ以降、2学期全体をとおして大学や専門学校等の入試に向けて3年生ががんばっています。

10月には、2年生が企業でインターンシップを実施しました。中学生のトライやるウィークとはまた違った体験ができたでしょうか。1年生は丹波布体験や今年新たに実施した陶芸実習に取り組みました。

11月には、もみじの里マラソンへの参加。そして昨年よりも規模を拡大して実施した文化祭は大成功でした。

12月には2年生が台湾へ修学旅行に行きました。昨日は全校でカルタ大会、スポーツ大会を実施しました。

学校行事をとおしていろいろなことに挑戦し、新しい発見や、今までにない経験ができたでしょうか。人は経験から学びます。また、地域のイベントや校外の行事にもたくさんの生徒が参加しました。夏休み中の道の駅のタベ、交通安全のマスコット配り、赤い羽根・歳末助け合い等の募金活動、八宿祭り等でのボランティア、英語スピーチコンテスト、探究活動の発表会、ビブリオバトルなどです。

2学期のいろいろな行事に取り組むみんなの姿を見て、西高の校訓「自主・互譲・責任」が大切だと改めて感じました。

「自主」とは、何事にも「自分から」「主体的に」行動することが大切だということです。

「互譲」とは、そのままの意味はお互いに譲り合うということです。しかし、それだけではなく、「お互いに声をかけ合い協力する」ことが大切だという意味です。

「責任」は、よく見る言葉ですが具体的にどうすることかと聞かれると答えるのがむずかしいと思います。でも、責任の反対は何でしょう。「無責任」です。つまり「無責任な言動をしない」ということです。何かをやる時に、「あいつは無責任だ」と言われるのは人として最低の評価です。そんな人には何も任せられないし、社会人としては通用しません。誰からも信頼されません。

自主・互譲・責任をキーワードにして、各自で2学期を振り返ってほしいと思います。

(校長 高橋信之)